

教育目標、指導の重点、教育目標達成のための特色ある教育活動等

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

- ① くじけぬ心とたくましい体を鍛える。
- ② 高い知性と豊かな情操を養う。
- ③ 自律・互敬の精神を培う。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 健康教育を推進し、心身を鍛え、健康・安全の保持、増進を図る。
- ② 体験的な活動を重視し、体験を通して課題を見出し、主体的に思考し解決する機会の充実を図る。
- ③ 学校評価を反映させ、保護者や地域の声を生かし、知性と豊かな情操を持つ調和のとれた人間性を育む。
- ④ 人権尊重の精神を基調として、互いに敬愛し、自主的・自律的精神に満ちた社会性を養う。
- ⑤ 地域に支持される学校として学校を開き、高大連携など地域の教育力の活用を図る。
- ⑥ キャリア教育を推進し、自己の個性を理解して、最も合った進路の主体的な選択に寄与する。

2 指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

- ① 指導内容を精選し、興味・関心を引き出す授業、よく分かる授業を工夫し、基礎学力の定着・向上を図る。年度当初に、全教科の年間授業計画(シラバス)を生徒に示し、計画的な学習を指導する。
- ② 進路実現の学力をつけさせるため、きめ細かな指導を展開する。生徒による授業評価により指導法を改善し授業の質を高める。習熟度別授業を2学年の数学Ⅱで実施する。ICT機器等を使った教科指導を推進し、学習意欲の向上を図る。1学年の数学Ⅰは学期ごとの単位認定を行う。
- ③ 生涯にわたる運動及び健康の保持増進の基礎を培い、生活や安全を確立していく観点により指導する。少人数授業を1学年の家庭科、3学年の保健体育科で実施する。
- ④ 清掃美化活動、ゴミの分別の徹底を通して、学習環境の整備を図り、地球規模での環境教育を推進する。

(2) 特別活動の指導

学習指導要領に基づいて、ホームルーム活動、部活動、学校行事を活かして全人的成長がなされる指導を行う。

- ① 環境教育を行い、心身の健康と健全・安全な生活態度や習慣の確立を図る。
- ② 各自の役割分担に最後まで責任を持たせる指導を徹底する。
- ③ 互いの人権を重んじ、励まし助け合って計画等を成功させる体験を通して豊かな社会性を育成する。教師と生徒、学級・学年を越えた生徒相互の温かな人間関係の構築を図る。

(3) 生活指導

生徒部、保健庶務部と学年が連携して自主・自律の生活習慣を身に付けさせる。

- ① 身の回りの学習環境の美化・清掃に心がけ、ボランティア活動などにも進んで奉仕する心を育てる。
- ② 安全・事故防止等の取り組みを進め、教育相談・健康相談など、あらゆる機会をとらえて、教師と生徒との人間的な接触を深め、生徒の内面的理解に基づいたきめ細かな指導を行う。

(4) 進路指導

進路部と学年が連携して、進路指導の充実を図る。

- ① 高大連携などにより早期より進路意識を高め、人間としての在り方生き方を考えさせる指導をおこなう。
- ② 適切な進路選択を行えるよう、平素の学習指導を重視し、学習習慣を確立させる指導を徹底する。
- ③ 進路を具体的に考える機会を充実させ、大学講義模擬体験や高大連携先の大学で授業聴講の機会を設ける。
- ④ 第一学年においては、ホームルーム指導、進路相談などを通して、人生観・職業観などの意識を高め、第二学年、第三学年においては進路目標を確認させるとともにその実現に向けて能力の向上を図る。

(5) 総合的な学習の時間

- ① 一学年では総合的な学習として奉仕を行う。具体的には奉仕の心構えを学び、自ら率先して地域の清掃活動などを行うことで奉仕する心を育み、奉仕の意義を確認する。
- ② 二学年では自己のあり方、生き方や進路実現について考察する学習活動を行う。進路実現については、大学講義体験・個別学習などを通じて学習する。自己のあり方、生き方については、修学旅行を通じた平和学習や行事への取り組みなどを通じて学習する。
- ③ 三学年では希望の進路実現を図るために必要な資質を養う活動を行う。自ら設定したテーマに主体的に取り組む力を養成する。最高学年として、学校行事などを積極的に統率する資質を養う。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動等

(1) 教育目標達成のための特色ある教育活動

- ① 個性を伸ばし、豊かな人間関係を築く機会になるよう学校行事を充実させる。一学期に合唱祭、二学期に文化祭・体育祭、修学旅行(第二学年)を実施する。地域の小・中・高・大と連携し、学習活動・学校行事・部活動の質を高め、また社会性を培う。
- ② 部活動・学校行事・学校説明会・学校運営連絡協議会を通して学校を地域に開いていく。中学三年生などを対象に6月、10月、11月に授業公開を実施する。個別の授業公開、学校案内は通年で実施する。

(2) 学校週5日制完全実施への対応

- ① 月、木の週二日、7時間授業を設定する。期末考査後の授業時間割を工夫し、授業時数の確保を図る。
- ② 小テストの実施など、家庭学習の習慣を身に付けさせ、授業内容の充実・強化を図る。